



## 駐日トルコ共和国大使館 プレスリリース

★★★★ アップデート ★★★★★

2014年02月14日

### セルダル・クルチ駐日トルコ大使が田嶋 勝正 串本町長とご一緒に 軍艦エルトゥールル号の遭難現場に潜ります

ーエルトゥールル号が遭難した海底にて遺品引き上げプロジェクトに参加ー

於： 和歌山県 串本町・大島  
日程： 2014年2月23日(日)(悪天候の場合は中止)  
お問い合わせ： 駐日トルコ共和国大使館 報道参事官室 担当:丸山  
TEL:03-3470-6704 / FAX:03-3470-6705  
[pressoffice@turkey.jp](mailto:pressoffice@turkey.jp)  
串本町役場 総務課 担当:西野  
TEL:0735-62-0555(代) / FAX:0735-62-4977

1889年、オスマン帝国のスルタン・アブドゥルハミド2世の親書を明治天皇に贈呈すべく日本に派遣された軍艦エルトゥールル号は、翌1890年に任務を終え、帰国の途について間もなく台風に遭遇した結果、串本町・大島付近で沈没しました。この事故で500名以上の殉難将兵がエルトゥールル号と運命を共にしました。

当時、地元住民の方々の献身的な救助活動により69名が一命を取り留めました。事件の後も、日本国民の皆様は亡くなった殉難将兵の思いを大切に下さり、慰霊碑を建立し、追悼式典を行ってきました。このことは、124年間育まれてきたトルコと日本の友情の絆の礎となりました。

海洋考古学者トゥファン・トゥランル氏が率いるチームは現在、エルトゥールル号遺品の引き上げと、保存作業を進めています。クルチ駐日トルコ大使と田嶋串本町長は、同プロジェクトの一環として2013年10月17日にエルトゥールル号の遭難現場に潜る予定でしたが、台風28号の影響によりプログラムは延期されることになりました。このプログラムは2014年2月23日に実施されることになりましたのでここにお知らせいたします。

同21日に串本入りしダイビング講習を受けて上記プログラムに挑みます。駐日大使と串本町長が遭難現場に潜るのは今回が初めてのことです。大使が田嶋町長、トゥランル氏とご一緒に海底で遺品の現状や遭難現場を視察し、記念プレートを設置し、遺品捜索作業に参加します。

尚、大使は今回の串本訪問行程のなかで、同22日夕方に南紀国際交流協会主催で執り行われるオルハン・スヨルジュ トルコ航空機長追悼行事「友情のともしび」にも出席します。